

# 「科学雑誌で学ぶ日本語」作文練習 13

木下大輔

2021年12月15日

## 1 第一問

「骨粗しょう症は、この2種類の細胞の連携がうまく機能しなくなり、骨芽細胞が骨をつくる量よりも、破骨細胞が骨をこわす量のほうが多くなることでおきる。」という文がありました。「…よりも…」を含む文を作りなさい。

## 2 第二問

「若いうちは、これらの線維や基質に弾力があるため、肌に張りがある。」という文がありました。「…うち…」を含む文を作りなさい。

## 3 第三問

「年をとるにつれて、椎間板は体の重みや負担に耐えられず、だんだんとすり減って形や大きさが変わっていってしまう。」という文がありました。「…につれて…」を含む文を作りなさい。

## 4 第四問

「なかでも椎間板の老化は、背中が曲がる原因の中でも最も多いとされている。」という文がありました。「…なかでも…」を含む文を作りなさい。

## 5 第五問

「しかし、長年にわたって紫外線を浴びつづけると、表皮の細胞とメラノサイトの遺伝子に異常が生じてしまう。」という文がありました。「…てしまう」或いは「…てしまった」を含む文を作りなさい。